

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

じりじりとドル高 (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 田中春菜

今週のドル円予想レンジ **110.50 ~ 112.00**

りそなWEEKLY COLUMN

市場との対話 (P3)

りそな銀行 市場トレーディング室
島崎 晃太郎

- 相手の狙いや意図を考えることが大事
- 「気づかない」ことが一番よくない

2021/7/5

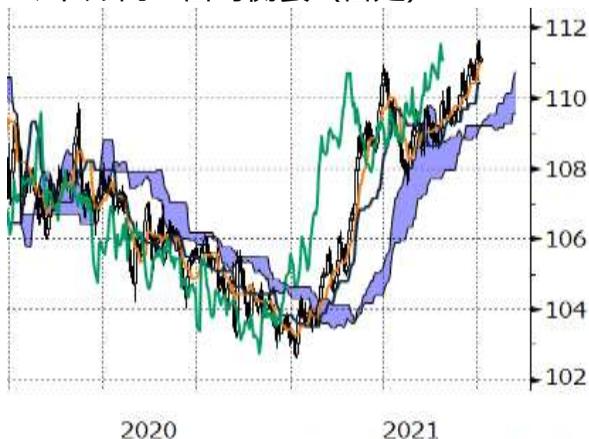
りそな外為レポート

じりじりとドル高

今週のドル円予想レンジ **110.50 ~ 112.00**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすめ

先週末発表された米雇用統計は、市場予想を上回る85万人増となったものの、失業率と平均時給が市場予想より弱い内容となった為、米FRBの早期金融緩和縮小期待が後退しドル高が一服。ドル円は111円05銭近辺で越週した。

今週の注目材料は、6日に発表を控えている米ISM非製造業景況指数と7日に予定されている6月分の米FOMC議事録の発表か。ドル高の主な要因が米国の好調な経済指標と米FOMCメンバーの相次ぐタカ派コメントだけに、引き続き強い米国経済と米FOMCメンバーの米早期金融緩和縮小の肯定が確認できれば再びドル円はドル高円安に転じると予想する。
(カスタマーディーラー 田中春菜)

◆ 今週の日程

7/5 (月) 米 独立記念日振替で休場
7/6 (火) 日 5月毎月勤労統計
7/6 (火) 米 6月ISM非製造業
7/7 (水) 米 FOMC議事録 (6/15,16)

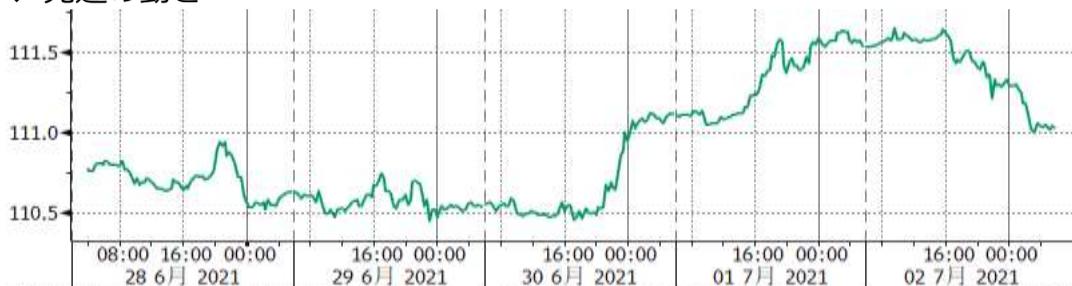
7/8 (木) 日 6月景気ウォッチャー調査
7/9 (金) 中 6月CPI
7/9 (金) 他 G20財務相・中央銀行総裁会議
7/11 (日) 日 まん延防止等重点措置の期限 (10都道府県)

◆ 今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓)

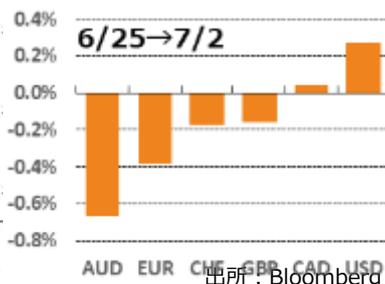
NY引け値 7月2日(金) 111.09円 VS 7月9日(金)

りそな (東京)										りそな (大阪)				埼玉りそな				関西みらい				みなと									
井口	小林伸	石川	田中	中里	范	伊藤	村永	岩田	小林翔	上野	曾根	鈴木	武富	湊真	中太	石井	中根	津田	佐藤	中山	内田	荻窪	藤森	三好	石田	尾股	中野	荻谷	辻村	山木	下川
↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	研修	↓	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↓	↓	休	↓	↓	↑	↑	↑	休	↑	↑

◆ 先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/7/5

りそな WEEKLY COLUMN

市場との対話

- 相手の狙いや意図を考えることが大事
- 「気づかない」ことが一番よくない

りそな銀行 市場トレーディング室
島崎 晃太郎

質問です

「道に落ちていたゴミに気づいているのに拾わない者と、
気づかずに拾わない者、さてどっちが悪いと思う？」

これはとあるアニメのワンシーンで、主人公が投げかけられた質問である。もちろん客観的な正解はない質問だが、読者の皆様も是非考えてみてほしい。そして自分なりの回答にたどり着いてから、先を読み進めていただきたい。

決闘（デュエル）

冒頭のセリフの出典は、2004年10月から2008年3月にかけて放送されたアニメ遊☆戯☆王シリーズの2作目、『遊☆戯☆王デュエルモンスターズGX』第114話のワンシーンである。遊☆戯☆王は誕生から25年を迎えた日本発の世界的なカードゲームであり、「俺のターン！ドロー！」というセリフ、一度は耳にしたことがあるという方もいらっしゃるのではないだろうか。

作中では、カードを用いて闘うことを「決闘(デュエル)」と呼び、プレイヤーは「決闘者(デュエリスト)」と呼ばれる。デュエルは世界中の人々が熱狂する競技で、賞金が出るプロリーグやプロデュエリストを育成する機関も存在する、ということになっており、『遊☆戯☆王GX』は一流のデュエリストを目指す者たちが集う学校「デュエルアカデミア」が舞台となっている。現代日本に例えれば、将棋や囲碁のプロ棋士が存在しているようなイメージに近い。アニメは15年ほど前に制作されたものだが、2021年の現実世界ではコンピューターゲームをスポーツ競技と捉え「eスポーツ」と呼称し、高額な賞金がかけられた世界大会が開催され、プロを目指し養成機関に通う人たちが増加している。どうやら、アニメの世界観は現実からそう遠く離れたものでもないようだ。

実は筆者も「決闘者(デュエリスト)」であり、学生時代は友人とチームを組んで大会に出場していた。ちなみに、現実世界にはプロリーグはないので賞金はない(参加賞と名誉は手に入れることができる)。

※ちなみに、作中ではカードを場に出すと、機械がそれを読み取り、カードに描かれたモンスターが立体映像で出現し闘う。今でいうところの「AR(拡張現実)」。遊☆戯☆王界は現実を先取りしている。



2021/7/5

りそな WEEKLY COLUMN

相手の狙いを読む

※連続した攻撃の組み合わせや効率的な組み合わせのこと。「コンビネーション」から生じたゲーム・カードゲーム用語。

筆者も、コンボ(※)が成功する確率や期待値を計算したり、デッキ(カードの山札)から狙ったカードを手札に引き込むことができる確率を計算してデッキ内のカードの配分を調整したり、大会などで流行しているカードに対する対策を用意したりと、大会で勝つために、研究を重ねたものである。しかし、どれだけ自分に自信のあるデッキを組んだとしても、それだけでは勝ち続けることはできない。カードゲームでは常に相手が存在し、相手との駆け引きが勝敗を左右するからだ。常に「自分のやりたいこと」と「相手のやりたいこと」を考えてプレイすることが求められ、対戦中は常に「相手は何を考えているのか」「相手は何を狙っているのか」について思索を巡らせる必要がある。自分の主張を通そうとするだけでなく、相手の主張を通させないようにすること(効果的な妨害)や相手の狙いを読んだうえで立ち回ること(予測と駆け引き)が勝利には不可欠なのである。

為替相場でも常に相手が存在する。自分が通貨を売った時、誰かが買っているので取引が成立する。たとえば相場が上昇しているとき、どういった狙い(意図)で買っている人がいるのかについて考えることが重要だ。送金で利用するから買ったのか(実需)、さらに上昇すると思って買ったのか(投機)、あるいは買いたくないが買わざるを得なかったのか(損切り)、など相手の意図を読むことができれば、為替ディーリングで勝つ確率が上がるかもしれない。

気づこうとすること

さて、冒頭の質問に戻ろう。

質問に対して、アニメの主人公は「そんなの、気づいているのに拾わない奴の方が悪いに決まってるじゃないか」と答える。しかし、質問者はこう返す。「それは違う。落ちているゴミに気づいている者は、いつか拾うかもしれない。だが、ゴミに気づかない者は、永久にゴミを拾うことはない」と。

この質問は少し極端ではあるが、「気づくことができない」ことの危うさを説いている。「気づいているのにあえてしない」と、「気づくことができずにしていない」ことは全く別の問題であり、気づかないことの方が罪は重いのである。

我々も、気づかないうちに何かを見落としているかもしれない。一見些細に思えることでもそれは相場を動かす火種となりうるものかもしれない、という発想を常に持って市場と向き合うべきだと、自分にも言い聞かせている。

相手、言いかえれば他の市場参加者、の意図を読み解くこと。気づいていないことに気づこうとすること。これこそが市場で勝ち残るために必要な「市場との対話」なのではないか、と筆者は考えている。

